



2026年がスタートしました

新しい年を迎えました。今年も「はたちの集い」から2026年の活動をスタートしました。本年も県政発展のため、全力を尽くす覚悟です。引き続きましての皆様からのご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

昨年を振り返りますと、参議院選挙での与党敗北、石破政権の退陣、高市新政権の発足と激動の国内政治でした。高市新政権は高い支持率を維持していますが、今後打ち出す政策が重要になってきます。地方への波及がどのようになるのかを私もしっかり注視して参ります。

本年が皆様にとって飛躍の一年となることをご祈念申し上げます。



江津新年互礼会で挨拶

江津高校神楽部の皆さんと丸山知事を表敬訪問

昨年7月の「第14回高校生の神楽甲子園」で最高賞の「日藝選奨」を受賞した江津高校神楽部の皆さんと、12月26日に県庁を訪問し、丸山達也知事を表敬訪問しました。また、神楽部は昨年行われた「第25回郷土芸能の集い」伝承芸能部門で優勝賞を受賞し、全国高校文化祭への出場権を獲得しています。

丸山知事からは、披露した演目や練習などについて質問があり、今後の活動に対して激励をいただきました。



丸山知事に切れ目のばちを進呈

県・市政報告会を開催します

下記の通り開催致します。どなたでもご参加いただけますので、お誘いあわせの上、気軽にご参加下さい。

- と き 令和8年2月1日(日) 14時00～
- ところ パレットごうつホール
- 弁 士



中村 中
江津市長



坪内 涼二
県議会議員

県立こころの医療センターを視察

1月15日、私が委員長を務める環境厚生委員会の閉会中の調査で、島根県病院局が運営する「県立こころの医療センター」を視察しました。同センターは、昭和44年に開設し、精神科医療を担う基幹病院で、外来診療・入院、デイケア、リハビリなどを通して、一人ひとりの心に寄り添う医療を提供しています。

センターの概要や取組の実態などについて説明を受けたのち、小・中学校の児童・生徒が対象の児童・思春期病棟「若松病棟」などの施設見学を行いました。精神科医療を必要とする方は増えてきており、同センターが果たす役割は一層大きくなるなか、有意義な視察となりました。



意見交換ののち施設見学

11月定例会一般質問 三江線代替交通について

【問】三江線代替交通となっているバス路線等の利用実績を伺う。

【答】平成30年4月から運行を開始し、現在10路線が運行されている。利用者数は、平成30年度は約10.4万人、令和4年度は約12.1万人、5年度は約11.9万人、6年度は約11.8万人で、年間12万人程度で推移している。通勤・通学が全体の約8割を占め、残り約2割が通院や買物等となっており、沿線住民にとって欠くことのできない移動手段として定着している。



【問】国の補助対象の要件である利便増進実施計画を更新しなかった理由を伺う。

【答】同計画は、鉄道から路線バスへの転換等、大幅な再編をする際に国からの特別な財政支援を受けるために必要となるもの。国からはこれ以上の更新は認められないとの回答があったため法定協議会において、今年度末での計画終了が承認された。今後は県と沿線市町で必要な費用を負担し、このバス路線等を維持していく方針を確認したところであり、現在各自治体において必要な手続が進められている。

【問】より利用しやすい運行形態への見直し等に県としてどのように取り組んでいくのか伺う。

【答】先月、第2期三江線沿線地域公共交通計画の素案が承認された。素案には、乗換えアプリを活用した利便性の高い運行情報の提供、通院するための新たなルートの検討、近隣高校の登下校に合わせたダイヤの編成など、様々な取組の方向性が示されている。引き続き、沿線市町等と連携し、三江線代替交通であるバス路線等が将来にわたって維持されるよう取り組んでいく。

11月定例会一般質問 日比谷しまね館について

【問】開館5年を迎えた県のアンテナショップ「日比谷しまね館」の評価と今後の展開について伺う。

【答】新型コロナの影響により、厳しいスタートとなったが、品ぞろえの充実や、カフェコーナーでの新メニューの開発等により、客数や売上額は増加し、昨年度の売場面積1平米当たりの売上高は、移転前のにほんばし島根館で最も高かった時期と同程度になっている。今年度10月までの実績は、それを上回る状況。首都圏での認知も高まりつつあり、情報発信拠点としての機能も果たせるようになってきた。今後は、県内事業者の商品の市場調査や売上拡大につながる機能の充実にも取り組みたい。

【問】テレビドラマや近隣の劇場、映画館などと連動した取組の可能性について伺う。

【答】「ばけばけ」や「VIVANT」で、ロケ地ゆかりの特産品や番組ロゴなどを使った商品を販売するコーナーの設置、番組やロケ地をPRするポスター等の掲示や動画上映を実施した。また東京宝塚劇場での公演に合わせ、原作の漫画作品とのコラボイベントの実施、観劇、映画鑑賞をされた方に対するお買物の割引サービス等も行っている。こうした取組は、日比谷しまね館の認知度を高め、確実に来客数や売上額の増加につながっている。今後も連動した企画ができるように映画やテレビ番組の制作主体や周辺施設との関係づくりなど、連携強化を図っていく。



島根県議会議員 坪内涼二事務所

〒695-0016 島根県江津市嘉久志町イ1229-8
TEL: 0855(52)7511
FAX: 0855(52)7510
MAIL: tsubo.0930@gmail.com

情報発信はこちらから

